

衆議院地方創生に関する特別委員会ニュース

平成29.5.10 第193回国会第9号

5月10日（水）、第9回の委員会が開かれました。

1 国家戦略特別区域法及び構造改革特別区域法の一部を改正する法律案（内閣提出第54号）

・山本國務大臣、堀内厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

池田道孝君（自民）

- ・農業経営体が国家戦略特別区域農業支援外国人受入事業を利用する場合、どのような機関でどのような手続を行う必要があるのか、農林水産省に確認したい。
- ・地方創生の現在の進捗状況について、大臣の見解を伺いたい。

榎屋敬悟君（公明）

- ・東京都が提案した、国家戦略特別区域におけるいわゆる「混合介護」（選択的介護）のモデル事業の実施については、介護保険制度の根幹を損なうことのないよう、厚生労働省も都等と密に連携して対応する必要があると考えるが、堀内厚生労働大臣政務官の見解を伺いたい。
- ・保険内・外サービスの柔軟な組合せによる提供は介護保険制度の根幹に関わることから、国家戦略特別区域における取組と規制改革の議論との調整を行いつつ、慎重に検討していく必要があると考えるが、大臣の見解を伺いたい。

椎木保君（維新）

- ・法律改正により講じる「小規模保育所の対象年齢の拡大」は、総務省から勧告された待機児童の解消につながる子どもの預かり施設の確保にどのように応えるものとなるのか、厚生労働省に伺いたい。
- ・ドローンや自動走行以外の幅広い近未来技術を含め、日本版レギュラトリー・サンドボックスの対象として検討する必要があると考えるが、大臣の見解を伺いたい。

福島伸享君（民進）

- ・農業支援外国人受入事業に係る政令で定める事項によって、新たな規制が設けられるようなことがあってはならないことについて、大臣の見解を伺いたい。
- ・農業支援外国人の受入れについては、国家戦略特別区域に指定されている愛知県よりも、特別区域に指定されて

いない茨城県の方に適格があると考えているが、受入れが愛知県で実現できて茨城県でできない理由について、大臣の見解を伺いたい。

- ・農業支援外国人の受入れは、地域の特性に応じた制度である構造改革特別区域制度により対応することが、より適切と考えるが、大臣の見解を伺いたい。

宮崎岳志君（民進）

- ・平成28年11月9日の国家戦略特別区域諮問会議における獣医学部新設の決定から同月18日のパブリックコメント開始までの間になされた同学部新設時期に係る議論について、大臣に確認したい。
- ・地域別にみた既存の獣医関係学部の入学定員について、文部科学省に確認したい。
- ・新設する獣医学部を1校に絞ったにもかかわらず、入学定員は、既存学部の入学定員を大幅に上回る160名とされている意味について、大臣に確認したい。

玉木雄一郎君（民進）

- ・農業分野における外国人就労の解禁に伴い、技能実習制度により在留していた外国人は実習修了後、継続して農業に従事することが可能となるのか、農林水産省に確認したい。
- ・加計学園が新設予定の獣医学部の獣医師養成における新規性は何をもって担保されるのか、大臣の見解を伺いたい。
- ・既存の獣医関係学部における人獣共通感染症への水際対策に係るカリキュラムには具体的に何が不足していたのか、大臣の見解を伺いたい。

田村貴昭君（共産）

- ・外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律の目的及び同法において技能実習生の保護を図る観点から設けられた規定について、法務省に確認したい。

- ・労働者派遣法のスキームを採用して就労を解禁する農業分野における外国人材は、有期雇用と無期雇用のいずれか、また、登録型派遣か常用型派遣のいずれか、厚生労働省に確認したい。
- ・多言語対応の問題など、農業分野における外国人就労の解禁の仕組みは粗雑であると考え、外国人材からの苦情・相談に適切に対応できるのか、大臣の見解を伺いたい。